

## 》商工会議所活用レシビ

FILE 14

### ジョブ・カードで採用のミスマッチを回避 助成金などで訓練に掛かる経費も軽減

ソフトウェア業の弊社は技術者の集まりで、従業員は必ずしもコミュニケーションが得意とはいえません。しかし、パソコンとにらめっこしているだけの仕事ではありません。

お客様のご要望を実現するためには、話をよく聞いて理解し、弊社ができることを正確に伝えることが重要です。サービスにはお金が掛からないという先入観があり、家電量販店では安価なソフトが出回る中で、「お客様仕様」のソフトウェア開発やホームページの制作が弊社の付加価値といえます。従って、お客様のニーズをしっかりと把握し、製品化し、運用をサポートしていかなければなりません。

訓練は、弊社でみっちり行い、素人でも徹底的に鍛え上げていきます。こうした実績が評価されたのか、千葉県の職業訓練校の訓練生を受け入れています。

従業員には、きちんとしたあいさつを求めています。社会人としてのマナーなどは、弊社の少ない従業員(40人)を対象として、外部から講師を招くことは難しいです。柏商工会議所の講座を活用しています。その道のプロから直接指導され、電話応対などは目を見張るほどよくなりました。



株式会社国際情報ネット  
代表取締役社長  
尾形 廣秋 さん

紹介してもらいました。外部から訓練生を受け入れ、能力や適性を判断し、弊社のニーズに合えば、訓練終了後に正社員として採用できます。また、一定の要件を満たす場合は、国からの助成金や奨励金が出るのも助かります。訓練生も、訓練中に仕事の内容などが分かりますので、安心できるのではないのでしょうか。

一人前の技術者になるまでには、経費もずいぶん掛かります。採用のミスマッチは極力避けたいたいが本音です。こう考えていたところ、商工会議所から、ジョブ・カード制度を紹介してもらいました。外部から訓練生を受け入れ、能力や適性を判断し、弊社のニーズに合えば、訓練終了後に正社員として採用できます。また、一定の要件を満たす場合は、国からの助成金や奨励金が出るのも助かります。訓練生も、訓練中に仕事の内容などが分かりますので、安心できるのではないのでしょうか。

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

担当者からひと言



柏商工会議所 (千葉県)  
経営企画室長  
小路 次彦

ジョブ・カード制度は、社員経験の少ない求職者と求人企業をマッチングさせる、国の制度です。スタートから約2年がたち、中小企業にとって人材の育成・確保を図る有効な支援策となっています。

当所では、中小企業が抱える雇用問題の解決に向けた事業として、商工会議所全体でジョブ・カード事業に取り組みできました。制度を活用した企業からは、訓練計画の作成や助成金申請での支援などが感謝されており、事業の実績も上がっています。

現在の厳しい雇用情勢は、もうしばらく続くと思います。中小企業にとっては優秀な人材確保のチャンス。ぜひ、商工会議所にご相談ください。